

前略 ■授業記録を取る。修養会の授業をノートに筆記しながら参観することは、良い勉強法だと教わりました。■いずみ会には**教壇筆録**があります。授業記録です。修養会に参加されると、黒板に向かって右か左の位置に「筆録者」という場所が設けられていることにお気づきでしょう。授業中に登壇者の発問、動き、板書、児童の応答、教場の雰囲気等をその場で筆記していく記録係です。●昔、毎日新聞社の青山廣志さんが芦田先生の授業記録を速記され、それを活字に起こしたものがいずみ会から発行されました（「芦田恵之助先生七十八歳の教壇記録」青山廣志編）。それを読むと授業の様子が目に浮かぶようによく分かります。●が、速記を習っていない私たちが記録していくわけですから誤聞遺漏もあります。登壇者に確認もしますが、なかなか難しいものです。その筆録担当になったつもりで自分の目と耳と手を使って授業を見、記録する。これは大変良い勉強になるということです。■A罫ぐらいの大学ノートを手で半分に折り、横書きのノートを縦書きに使い、1ページを上下2段として使って記録していきます。登壇者の発問や補足、児童の応答、教場の様子等気づいたことを記録していきます。



ササ 伊吹山山頂から東遊歩道を下り始めるところにある背の低い笹原。まるでトロのトンネルのようでした。

4月24日撮影。

2014.11.5 教式短信 7